医療法人
社会福祉法人 養和会

No.282

きやらぼく

令和5年3月発行

※ CHAX スキー体験会の写真です。

CONTENTS

- 養和会レポート
  - ・養和会研究発表大会
  - ・養和会グループのスペシャリスト紹介
  - ・CHAXスキー体験会
- information
  - ・養和会野球部シーズンスタート
  - ・仁風荘入所の節分行事

養和会グループの求人募集はこちらから

engage 養和会　検索

令和４年度
養和会研究発表大会を開催しました。

職に対する意識、倫理観、質の向上へつなげ、職員間で情報を共有することにより、業務の円滑化、連携の強化をはかり、より質の高い医療・介護・福祉を提供することを目的に「令和４年度養和会研究発表大会」を2月26日（日）、会場（養和病院地域交流ホール）参加・オンライン参加の併用（ハイブリッド形式）で開催しました。

この研究発表大会は、毎年養和会グループ内で行っており、今年度は口頭発表が6部構成で29名、ポスター発表6名。養和会モニターの方の参加もあり、総勢約250名が聴講しました。

医療法人養和会 廣江　智理事長の開会挨拶でスタートした研究発表大会。第三群では多様な環境変化についての発表があり、養和会グループの職員有志で立ち上げた産後ケアチームメンバーの竹中典子健康運動指導士の発表では、心身のケアや職員同士のコミュニケーションの場を創ることで少しでも職場復帰しやすい環境を作ろうと多職種でチームを発足させたことを報告。月に一度、ヨガや座談会などを実施しており、参加者のアンケートからも事業に対しての満足感が得られていることの報告がありました。

また、第四群において、昨年4月に開設した介護医療院の田中亮太郎介護福祉士が発表した事例では、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、ご利用者の行動制限や面会制限を行っている中で、食事、散髪、レクリエーションなど、普段の施設での生活の様子を写真におさめ、アルバムにしてご家族に渡して見てもらうことで、ご利用者、ご家族の心理的不安を取り除くことができたとの報告がありました。

第五群で発表した介護医療院 山岡栞莉看護師は、認知症と癌に罹患しているご利用者の訴える苦痛に対してタッチングケアと訴えの傾聴を行ったことで、身体的苦痛の緩和、精神面での不安を取り除くことができたとの事例を報告。

最後に、仁風荘の石田良太事務部長から総評があり、発表資料について、できるだけ動画やデータ等を用い、聴講者に伝わるような説明を心がけてほしい等の助言がありました。

社会福祉法人養和会 廣江　仁理事長から閉会の挨拶があり、今年度の養和会研究発表大会を終了しました。

今回の発表会で、聴講者からの質問や意見等もあり、得られた新たな視点や知識を深めたことを今後の業務に活かし、医療・介護・福祉のより一層のサービス向上に取り組んでまいります。

養和会グループのスペシャリスト紹介

養和会グループには様々な資格を有した職員が在籍しています。その中でも「認定」「専門」といった各分野で活躍する職員を順次紹介させていただきます。
専門的な知識や経験を積み、ご利用者の皆様のご支援や地域に貢献しています。

専門内部障害理学療法士/認定褥瘡理学療法士/シーティング・コンサルタント

外来リハビリテーション課　土中　伸樹

上記資格認定で、最も地域と結びついているのが、認定褥瘡理学療法士とシーティング・コンサルタントの資格です。両方の資格を持っていることで、リハビリテーション領域だけでなく褥瘡の治療法、処置方法、予防方法など幅広く地域へ発信できる柱となっています。また、2つの資格を持つ理学療法士は、全国で5名しかおらず当院のように大学病院の形成外科とタイアップしている外来リハビリテーションは非常に少ないのが現状です。認定資格は、取得した後が問題です。その取得した認定資格をどう地域や利用者、組織に還元できるのか、どう普段の仕事に活かせるかによって、取得した資格の価値が変わるので引き続き研鑽していきたいと思っています。

認定呼吸理学療法士

訪問看護ステーション仁風荘　小島　春奈

資格取得のきっかけは、自身が呼吸の分野に弱く、正確なフィジカルアセスメントの技術を身に着ける必要性を感じたからです。訪問リハビリは基本一人で自宅に伺うため、急な判断を求められることもあります。このため、「いつもと違うな」の感覚が大事ですが、それには裏付けとなる評価が必要となります。資格取得後は、呼吸分野の中でも苦手意識のあった聴診を学びました。聴診はご利用者に負担をかけずに何回もできることと、リアルタイムでの異常を捉える事ができ、重症化の予防にもつながるため、訪問では貴重な武器になると感じております。今後も自主学習を継続し、目の前のご利用者をしっかりとアセスメントできるようにしていきたいと思います。

CHAX スキー体験会

CHAX 理学療法士
炭山　慧一

2月11日に大山ホワイトリゾートにてCHAXスキー体験会を開催いたしました。
当日は天気にも恵まれ、総勢16名(子供8名、大人8名)でスキーを楽しみました。初めてスキーをする参加者も多く、最初はスキーの履き方、こけ方、起き上がり方から練習しました。午前中は初めてのスキーに悪戦苦闘しましたが、午後からは一人で滑れるまでに上達しました。スキーは始めるには少しハードルが高いかもしれませんが、非日常が味わえるとても楽しいスポーツです。必要に応じて個別対応も行いますので運動が苦手な子でも大丈夫です!

CHAXキッズ体育教室では様々なイベントの他に「楽しみながら苦手をなくし、体育が好きになる」をテーマに毎週火曜日に体育教室を開催しております。

興味ある方は　**TEL 0859-29-5351**
(担当:炭山)までお問い合わせください。

養和会野球部

養和会野球部
主将 福島直也
（急性期治療病棟）

今シーズンから養和会野球部主将に就任致しました福島直也です。

今年は、昨シーズン全国大会で経験した事を生かし天皇賜杯・国民体育大会・西日本選手権のいずれかで2勝する事をチームの目標としており、選手1人1人が昨年よりも更に成長出来るように日々練習に精進してまいります。また、個人としましてはチームを上手くまとめる事が出来るのかと言う点において不安は御座いますが自分自身が出来る事をして養和会職員の皆様、地域の方々に心から応援して頂ける様なチーム作りをしたいと思っています。今後至らぬ点も多々あるかとは思いますが養和会野球部を暖かく見守って頂けたら幸いで御座います。今後共宜しくお願い致します。

仁風荘行事 節分をしました

仁風荘入所

仁風荘西町の節分では、職員が鬼に変装し、豆の代わりに、職員やご利用者が丸めた新聞を投げ、今年一年の無病息災を祈りました。次々と拾って投げる方も居れば、変装した鬼の衣装を見て、いつもと違う風景に刺激をうけておられるように思いました。この日の昼食は、ご利用者と一緒に巻きずしを巻き、「昔はよく巻いていたので懐かしい」「美味しかったです」と言った声も聞かれました。季節感を感じられた行事となりました。

養和会

養和会理念　養和会はご利用者の幸せ
地域の幸せ　職員の幸せを追求します。

こちらからHPもご覧ください
養和会

医療法人養和会　〒683-0841 米子市上後藤3丁目5番1号　TEL 0859-29-5351　FAX 0859-29-7179
社会福祉法人養和会　〒683-0841 米子市上後藤8丁目9番23号　TEL 0859-48-0483　FAX 0859-48-0484

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

※写真・作品などに関しては、ご本人の了解を得て掲載させていただいております。